

製品名: CD334 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82337**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	88kDa

抗原情報

遺伝子名	CD334
別名	FGFR4; TKF; JTK2
遺伝子 ID	2264.0
SwissProt ID	P22455
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD334 (AA: 追加 22-369) の精製された組み換え断片。

背景

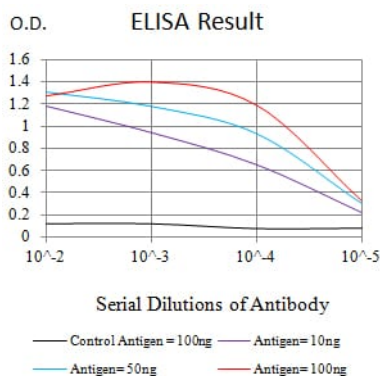
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、チロシンキナーゼであり、線維芽細胞増殖因子の細胞表面受容体です。このタンパク質は、細胞増殖、細胞分化、細胞遊走、脂質代謝、胆汁酸生成、ビタミン D 代謝、グルコースの取り込み、リン酸恒常性など、

複数の経路の調節に関与しています。このタンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通領域、そして細胞質チロシンキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されています。細胞外領域は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流シグナルのカスケードを開始させ、最終的には有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。[RefSeq 提供、2017年8月]

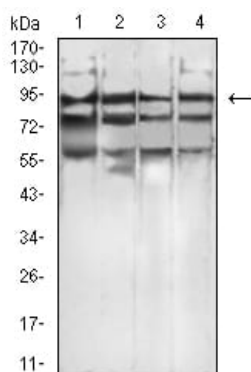
研究分野

TGF-βシグナル伝達経路、PI3K-Aktシグナル伝達経路、MAPKシグナル伝達経路、Hippoシグナル伝達経路

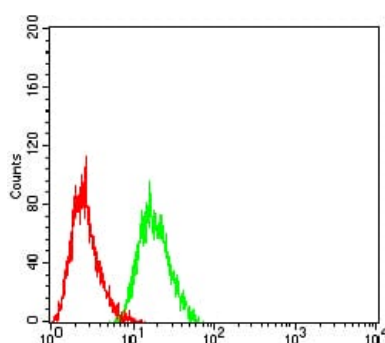
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



K562 (1)、MCF-7 (2)、COS7 (3)、および PC-3 (4) 細胞溶解物に対する CD334 マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



CD334 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HL-60 細胞のフローサイトメトリー分析。